



(仮称)ワールドビジネス ガーデン鉄骨工事

Steel Works of WORLD BUSINESS GARDEN

川田工業㈱・四国工場

1. まえがき

本工事は、千葉県が進める「千葉新産業三角構想」における基幹プロジェクトである幕張新都心開発の一つとして建設されているものであり、平成3年秋、竣工の予定である。

(仮称)ワールドビジネスガーデンは、幕張メッセに隣接し、A棟・B棟のツインの超高層ビルと低層棟で構成されている。

2. 工事概要

工 事 名：(仮称)ワールドビジネスガーデン新築工事

施 主：三井不動産株式会社

第一生命保険相互会社

鹿島建設株式会社

設計・監理：株式会社日本設計

鹿島建設株式会社 建築設計本部

施 工：鹿島建設㈱・㈱熊谷組・三井建設㈱・

三井不動産建設㈱ 共同企業体

階 数：地下1階・地上37階(高層棟)

高 さ：152.88 m

当 社 範 囲：B棟13～15節・屋根鉄筋(30～RFL)

〈構造はA・B棟とも同じ〉

3. オープン開先工法

本工事のボックス柱現場溶接(B棟10節以降)には、オープン開先工法(裏当て金なし現場溶接工法)が採用されている。一般図を図-1に示す。

従来のボックス柱現場溶接における裏当て金使用タイプの場合、ある節の柱のレベル調整はその2～3節後の柱にフィードバックすることによりなされていたが、柱製作および建方工程に支障を来すことがある。

本工事では、裏当て金を省略し、図-2に示すネジボルトにて建方前節のレベルと建方節の寸法公差を加味した寸法を建方直前にネジ調整することにより、各節ごとの柱のレベル調整を短時間に行えるようにしている。

オープン開先工法は、図-3に示すように裏当て金を使用しないで、初層を裏波溶接で行い、以後の溶接は従来の溶接方法で行うものである。

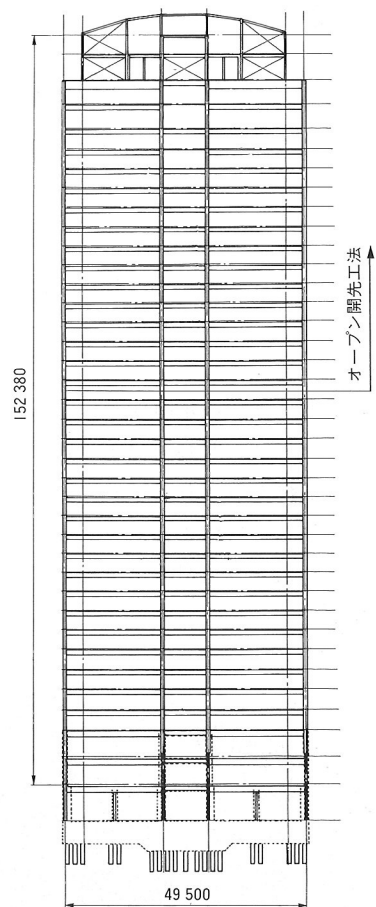


図-1 一般図

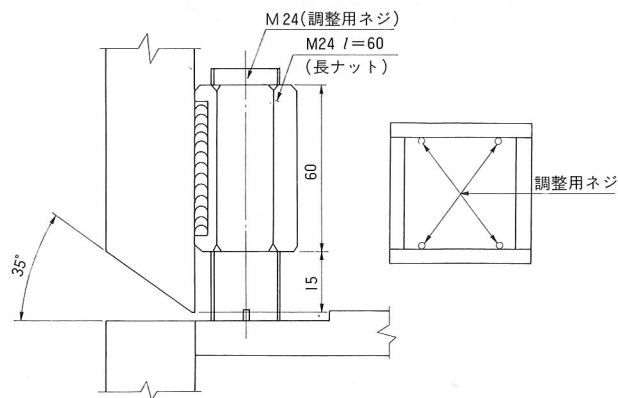


図-2 ネジボルト詳細図

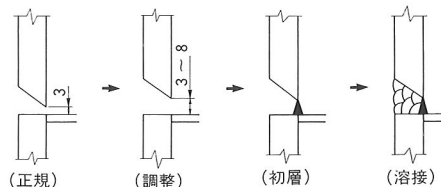


図-3 オープン開先工法による溶接方法

(文責・宮川孝広)